

余剰電力が捨てられ、電力不足の日本を救う再エネ事業 ”系統用蓄電池事業投資”

再エネ時代、電力の“安定供給”が鍵になる

- 太陽光・火力・原発で発電した電力は貯める事が出来ず破棄され需要と供給のバランスが取れていない
- 蓄電池で余剰電力を貯める事が必要不可欠
- 補助金活用も進み（2025年の予算は2兆円）導入に追い風
- 電気代上昇／脱炭素に向けた時代背景に、大手企業が参入



01 電力不足ってホント？

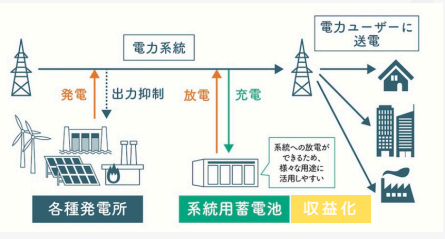
夏や冬のピーク時など電力需給ひっ迫の警報が発令されるケースが増加。近年の首都圏では極めて厳しい状況

02 系統用蓄電池とは？

余った電気を貯め、市場に売電。緊急時に電力不足のエリアに供給、日本が抱えるエネルギー自給率（僅か13%）の電力不足と電気代高騰の対策に大きな役割を果たす。

03 売電とは？

必要とされる市場に貯めた電気を売り、収益を得る。



再エネ事業の第二のバブル到来！！
系統用蓄電池事業投資のメリットとは！？

株式会社100energy
100energy.contact@gmail.com
〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル1012号

注目されているにも関わらず参入が難しい理由？

- 導入コストが高い！（数億円～）
- 成長段階の業界のため業者選定が難しい
- 設置場所の確保（立地条件が極めて大事）

＼ 弊社の強み！一気通貫 ／

当社ならではの取引実績

お任せください

蓄電機器大手の中国・韓国メーカーと多数取引あり。
状況に応じ、我々が選び抜いた多様な機種の取引が可能！

ワンストップサポート

お任せください

用地開発から実走・売電先まで
弊社が一括で管理・収益化！！
修理・メンテナンスの心配もなし！

収益性

お任せください

需要のある安定した収益市場で
低リスクに短期・中長期と目的に合わせた運用が可能！
（例:想定利回り15%）



どんな方に選ばれている？

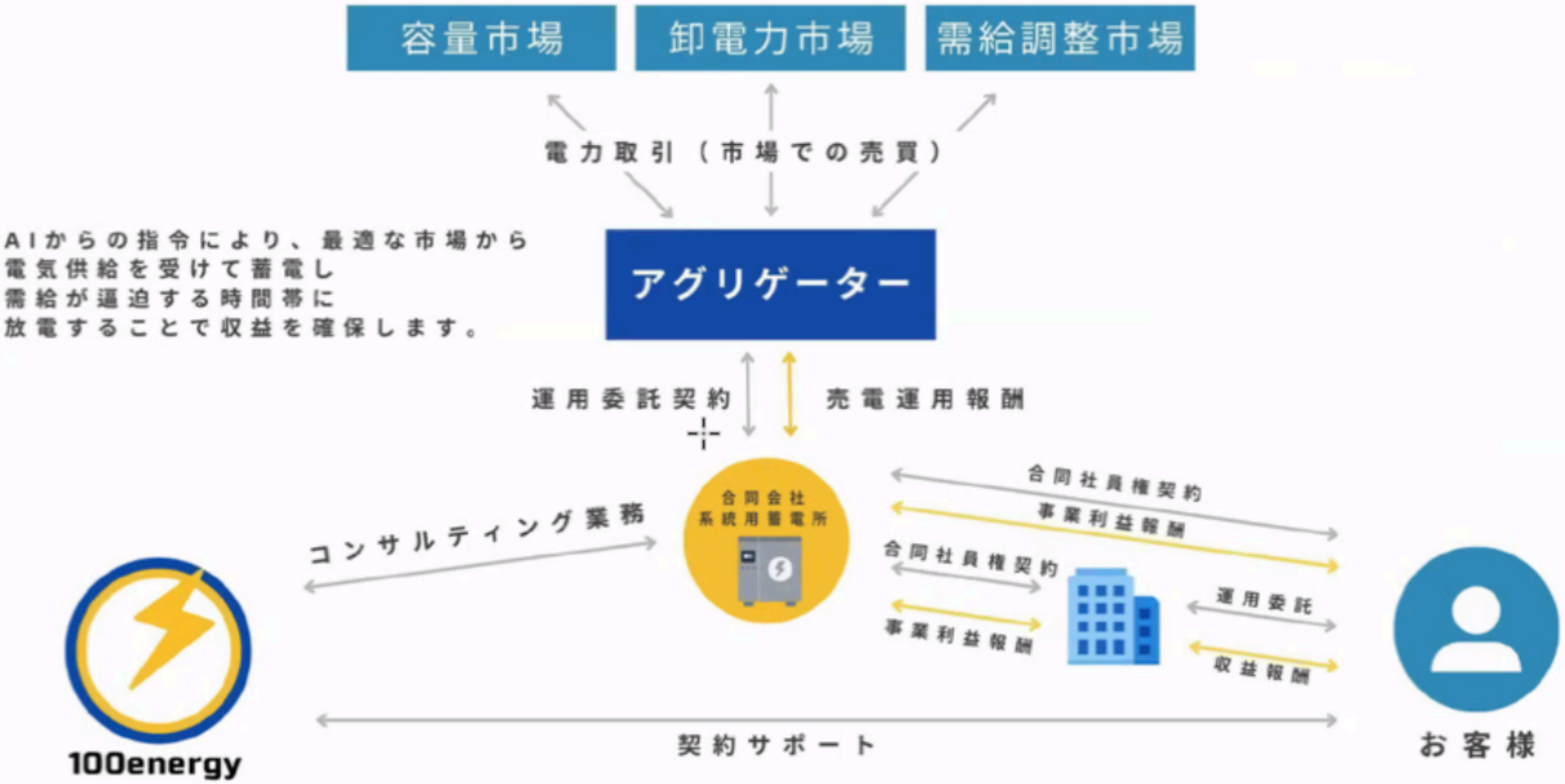
- ✓ 安定した事業投資がしたい
- ✓ 成長する市場で利益を得たい
- ✓ 日本が抱える問題に貢献したい

私たちは、個人投資家から事業者まで幅広いお客様のニーズに合わせた事業投資のご提案をしております。
当社の強みは、専門業者との取引実績により確実性のある事業の実走・運用・収益化まで一気通貫で弊社がサポート出来ることです。詳細はお気軽にご相談ください。

100energy

株式会社100energy

お問い合わせ先
100energy.contact@gmail.com
〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル1012号


容量市場
卸電力市場
需給調整市場
電力取引（市場での売買）
AIからの指令により、最適な市場から
電気供給を受けて蓄電し
需給が逼迫する時間帯に
放電することで収益を確保します。
アグリゲーター
運用委託契約
売電運用報酬
合同会社
系統用蓄電所
コンサルティング業務
合同社員権契約
事業利益報酬
合同社員権契約
事業利益報酬
運用委託
収益報酬
契約サポート
100energy
お客様

様式AP7-20201001
2025 年　3 月　 7 日

[redacted] 様

東京電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター
所長 齋藤　忠

接続検討申込みに対する回答について

貴社による接続検討申し込み（2024年12月9日受付 ： 受付番号[redacted] に対して、接続検討が完了しましたので、別添「接続検討回答書」のとおりご回答いたします。
なお、本検討結果に係る貴社の事業性評価や発電事業に必要な土地や発電設備の手配等にあたっては、「注意事項説明書」の記載事項を踏まえたうえで、ご検討下さい。
　ご不明点やご質問等は、担当者までお問い合わせください。

以上

担当 ：高圧連系グループ
ＴＥＬ ：【FIT】03-4426-5020
　　【非FIT】03-3509-1709
Email ：【FIT】fit_toiawase@tepco.co.jp
　　【非FIT】02tepconsc@tepco.co.jp

無断複製　・　転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社

接続検討回答書
（高圧版）

様式AP8-20230403

回答日　　2025 年　　3　月　　7　日

１．申込者等の概要

申込者	[redacted]　様　　(管理番号：[redacted]
検討者	東京電力パワーグリッド株式会社　　）

２．接続検討の申込内容

発電者の名称	小山市[redacted]蓄電所 栃木県
発電場所（住所）	小山市[redacted]
最大受電電力	1930　kW　　（最大自家用消費電力：1998ｋW）
アクセス設備の運用開始希望日	2025年7月14日

３．接続検討結果
（１）希望受電電力に対する連系可否

（ａ）連系可否： 可　　（※但し，「（５）申込者に必要な対策」が必要となります）

・系統混雑時において発電設備等を出力制御していただくことを前提としたノンファーム型接続適用により、系統に連系が可能となります。このため、系統混雑時の無補償での出力制御（オンライン制御）にあたり、貴社負担で必要な出力制御機器（通信装置含む）を導入していただきます。
今後、発電設備の申込み状況や系統構成の変化等により混雑状況が変わる可能性がありますが、その場合においても、適切な出力制御対応が必要となります。
設備の混雑状況を把握するための潮流実績等の情報については、以下ＵＲＬをご参照ください。
系統空き容量情報等のリンク先：（ＵＲＬ https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/）

出力制御量に影響を与える主な設備名：275kV[redacted]線
貴社の発電設備に関しては、基幹系統設備の混雑に対する再給電方式（一定の順序）による混雑管理が適用されます。再給電方式による混雑管理については、下記リンク先をご参照ください。
混雑管理に関する説明のリンク先：
電力広域的運営推進機関ホームページ　かいせつ電力ネットワーク
事業者向けコンテンツ　系統の接続および利用ルールについて
https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm

（ｂ）（連系否の場合）否とする理由：なし

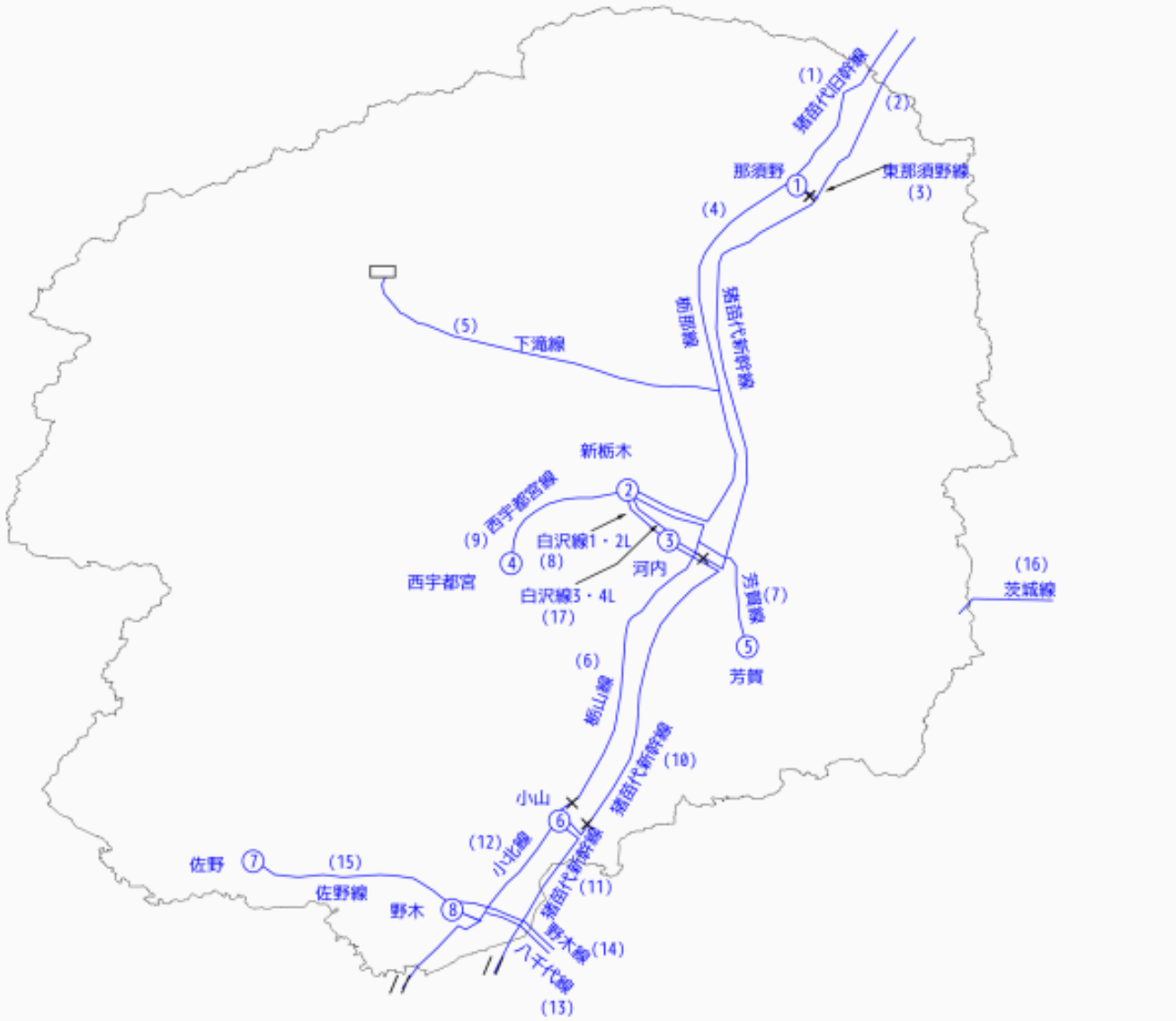
（ｃ）（連系否の場合）代替案または代替案を示せない理由：該当なし

（ｄ）（連系否の場合）連系可能な最大受電電力：該当なし

無断複製　・　転載禁止　東京電力パワーグリッド株式会社

栃木県　系統連系空容量マッピング ～154kVの電力系統～

※空容量マッピングとは、電力系統における送電設備の空き容量を可視化するものです。具体的には、送電線や変電所などの設備が、実際に電力供給のために使用している容量の他に、どの程度まだ余っているかを示したものです。



○ 本資料は 2025年5月8日 時点における系統状況から作成しております。

○ 空容量は目安※であるため，系統連系の前には，接続検討（要申込み）による詳細検討が必要となります。

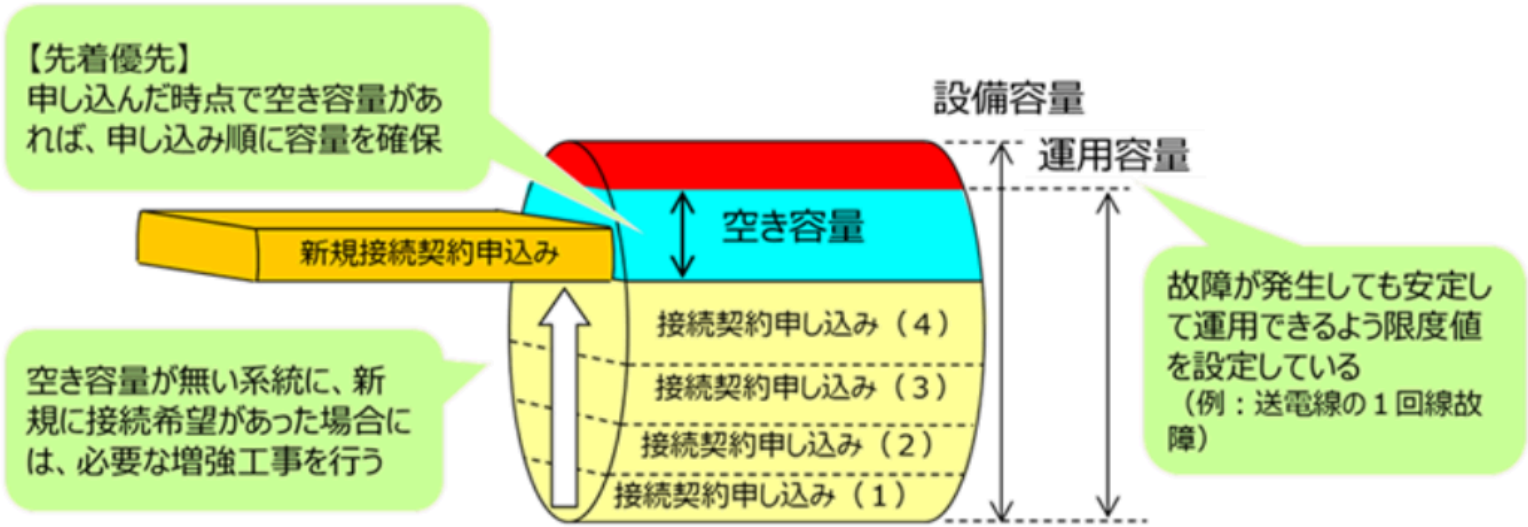
資料作成日　2025年5月12日

転載禁止 東京電力パワーグリッド株式会社

系統接続における先着優先ルール

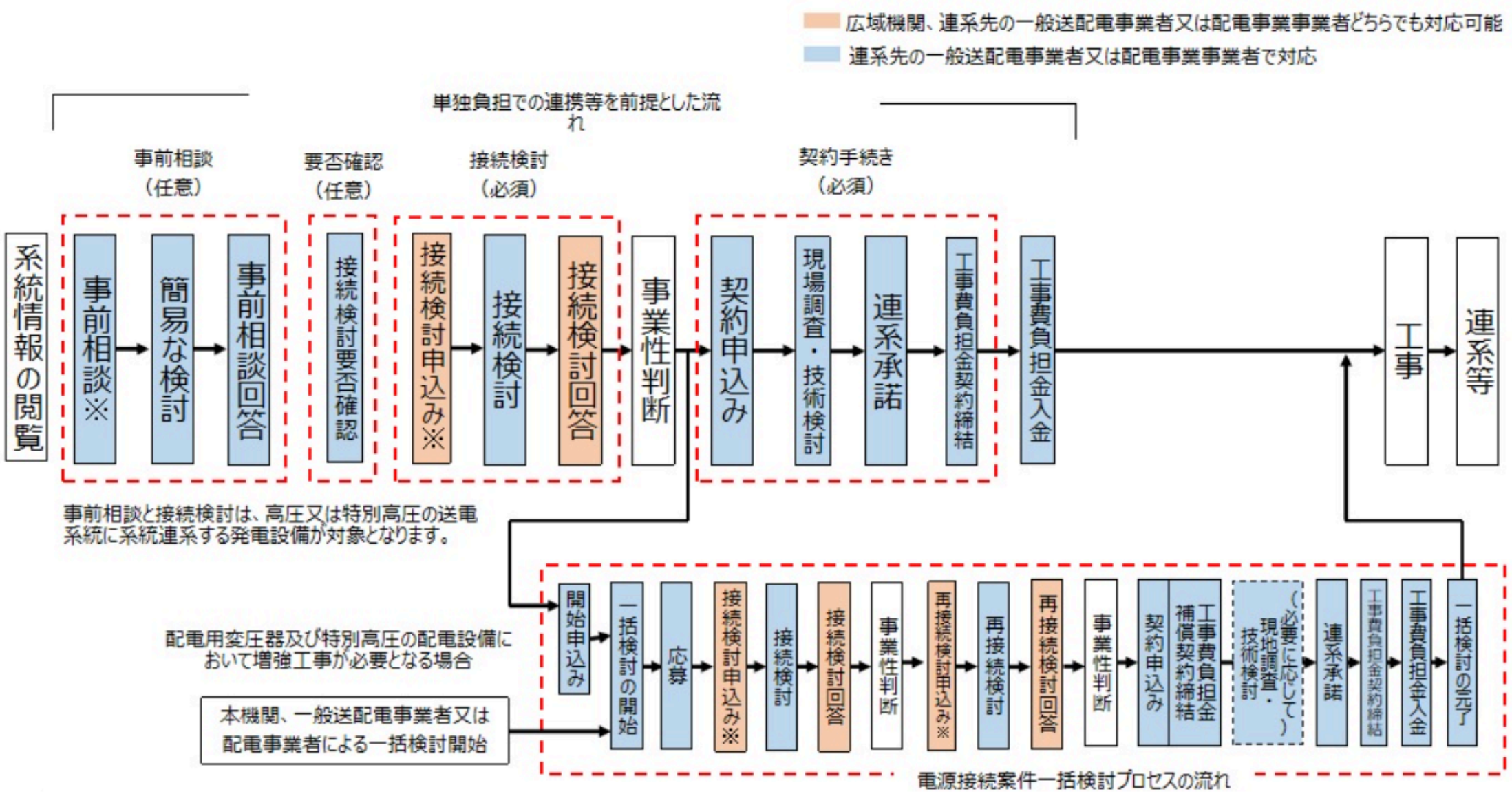
- 公平性・透明性を確保する観点から、太陽光や風力も含めて全電源共通で**接続契約申込み順に系統の接続容量を確保する**という**先着優先ルール**を原則としてきました。
- 新規の接続契約申込み時に系統に空き容量があれば容量確保できるが、**空き容量が無ければ、系統の増強が必要**となります。
- 仮に、空き容量が無い系統に、実際に流れている電気が少ないという理由で**別の事業者の接続を認める運用にすると**、既に容量を確保登録している事業者が電源を稼働した時点で系統に制約が生じ（＝送電できなくなる）、**事業者の事業予見性に影響が出る**ことになってしまいます。

【送電線利用ルール（イメージ図）】



経済産業省
資源エネルギー庁
Agency for Natural Resources and Energy

【発電設備等系統アクセス業務の流れ】



○ 本資料は 2025年5月8日 時点における系統状況から作成しております。

○ 空容量は目安※であるため，系統連系の前には，接続検討（要申込み）による詳細検討が必要となります。

OCCTO
電力広域的運営推進機関
Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators,JAPAN